

進路探究学習（キャリア教育）

子ども一人一人が将来に希望をもち、生き方や進路について考える「進路探究学習（キャリア教育）」をより一層充実します。小学校段階から、人や社会と関わり、様々な場面で自分の役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割の関係について見だし、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、「自分らしい生き方」と「社会的・職業的な自立」に向けて必要な基盤となる資質・能力を育成します。



進路探究学習オリエンテーリングにおける専門学校での航空に関する職業体験

キャリア教育において育む社会的・職業的に自立するための基礎的・汎用的能力

人間関係形成 社会形成能力	自己理解 自己管理能力	課題対応能力	キャリア プランニング能力
他者理解、コミュニケーション、協力・協働など	自己理解、自律、主体性など	課題意識、計画性、処理能力など	学ぶこと働くことの意義理解、将来設計など

小学校段階

低学年

- 助け合って係や当番活動を行い、自信をもってできることを増やします。
・学級活動など
- 地域で働く人などの様子を理解します。
・生活科など

中学年

- 協力し工夫しながら係や当番活動を行い、自分のもち味や役割を自覚します。
・学級活動など
- 地域で働く人の仕事の様子を捉え、その工夫について考えます。
・社会科など

高学年

- 話し合いを通して、自分の役割や責任、自他のよさを理解します。
・学級活動など
- 働くことの大切さや苦勞が分かり、自分の将来と今の学びとの関連を考えます。
・総合的な学習の時間など

中学校段階

- 自分の興味・関心などの個性を理解し、将来の生き方、働き方等を考えます。
- 将来の職業生活との関連の中で、現在の生活におけるマナーやルール、学習の必要性や大切さを理解します。
- 体験等を通して、勤勞の意義や働く人々の思いを理解します。
・「進路探究学習オリエンテーリング」への参加



進路探究学習オリエンテーリングパンフレット（令和2年度）

高等学校段階

- 主権者としての自覚を含む社会の形成者として主体的に参画する意識を高めます。
- 社会や地域と連携した体験的な学習や社会参加の取組において、主体的・試行的な体験を通して、生き方や将来について考えます。
・進路探究セミナー（高1）
・職場体験学習（高1～2）
・高大連携事業 等



生徒参加型で行われた進路探究セミナー（令和元年度の様子）

教育課程編成の手引（小学校編・中学校編）の特別活動において、活用例を掲載しています。

- 特別活動を要として
- 各教科・科目等の特質に応じて
- 活動を記録し蓄積する教材等（いわゆるキャリア・パスポート）を活用して

<各学校における取組例>

- 特別活動 学年や各行事等の目標や振り返り（学級活動・ホームルーム活動）、ボランティア活動 など
- 総合的な学習（探究）の時間 地域の見学、社会人講話、職業調べ、職場見学、職業体験 など
- 道徳科 勤勞、社会参画、公共の精神、相互理解、寛容、個性の伸長 など
- 各教科等【保健体育科】団体競技で仲間大切さやルールの大切さを知る など
【外国語科、外国語活動】相手に配慮しながら主体的なコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける など
【社会科公民的分野】職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善などについて学ぶ など
- その他 教育相談、進路相談 など